

平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	独立行政法人国立国際医療研究センター施設整備費		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～		担当課室	国立病院課		課長：古川夏樹	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-4-1 政策医療を向上・均てん化させること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条		関係する計画、通知等	平成23年3月29日厚生労働省発医政0329第19号「平成23年独立行政法人国立国際医療研究センター施設整備費の国庫補助について」 平成23年5月2日厚生労働省発医政0502第2号「平成23年度独立行政法人国立国際医療研究センター施設整備費補助金交付要綱の一部改正について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人国立国際医療研究センターの施設の整備のために要する経費を補助することにより、同センターの業務(感染症その他の疾患であって、その適切な医療の確保のために海外における症例の収集その他国際的な調査及び研究を特に必要とするものに係る医療並びに医療に係る国際協力に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等)の円滑な実施及び同業務の推進に資すること。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	独立行政法人国立国際医療研究センターが施工する施設の整備費。平成22年度からの整備内容(予定を含む)は次のとおり。 ・教育研修棟新築等整備(平成22年度～平成24年度) ・臨床研究センター整備(平成23年度～平成24年度) ・外来棟新築等整備(平成23年度～平成26年度(予定)) ・外来管理治療棟新築等整備(平成25年度～平成26年度(予定)) ・研究所A棟熱源棟更新整備(平成26年度(予定))						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	742	261	100	333	674
		補正予算					
		繰越し等	▲742	17	693	33	
	計	0	278	793	367	674	
	執行額	0	78	311			
執行率(%)	0.0%	28.0%	39.2%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	(独)国立国際医療研究センターが施工する施設の整備の完了	成果実績	—	・教育研修棟新築等整備(平成22年度～平成24年度) ・臨床研究センター整備(平成23年度～平成24年度)			—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	(独)国立国際医療研究センターが施工する施設の整備	活動実績 (当初見込み)	件	1 (—)	3 (—)	3 (—)	2 (—)
単位当たりコスト	(円/ )		算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	施設整備費	333	674	新規整備事業による増(研究所A棟熱源棟更新整備)			
	計	333	674				

事業所管部局による点検

項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	我が国の国際保健医療協力の中核的機関として、感染症等国際的な調査研究が必要な疾病に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行っていることから、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	我が国の国際保健医療協力の中核的機関として、感染症等国際的な調査研究が必要な疾病に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行っていることから、国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	我が国の国際保健医療協力の中核的機関として、感染症等国際的な調査研究が必要な疾病に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行っていることから、優先度が高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を踏まえ、契約の徹底した適正化に取り組んでおり、競争性、透明性は確保されている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—	—	
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—	—	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—	—	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を踏まえ、契約の徹底した適正化に取り組んでおり、競争性、透明性は確保されている。	
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		入札の結果残額が生じたため等		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—	—	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—	—	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	整備された施設については、当センターの事業目的に沿って、活用されている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	—	
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名
点検結果	整備された施設については、センターで活用されていること、また、事業の目的や必要性等について、精査した結果、現段階では特段問題ないものとする。			
外部有識者の所見				
執行額を勘案し予算額への反映が必要。(長崎、井出)				
行政事業レビュー推進チームの所見				
事業内容の改善	独立行政法人国立国際医療研究センター施設整備費については、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すべき。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
執行等改善	独立行政法人国立国際医療研究センター施設整備費は、独立行政法人国立国際医療研究センターが施工する施設の整備費を補助するものであるが、各年度において施工する施設の内容は必ずしも同一ではなく、平成25年度以降に執行を予定する案件(外来棟新築等整備等)は平成24年度に不用を生じた案件(教育研修棟新築整備、臨床研究センター整備)とは別のものである。また、平成24年度において不用が生じた理由は、教育研修棟新築整備においては設計・工事の遅れにより平成24年度までに事業が完了しなかったため、一部補助対象外となったこと、臨床研究センター整備においては入札による契約額が予定を下回ったため等である。そのため、平成24年度執行実績をもって、直ちに概算要求に反映することは難しいが、外部有識者等のご指摘を踏まえ、今後は過去に同様の整備事業(事業内容や事業期間等)を参考にし、その整備内容を十分精査した上で、予算要求に反映してまいりたい。			

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年

—

平成23年

886

平成24年

768

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省

311百万円



独立行政法人国立国際医療研究センター

311百万円

【一般競争入札】

A.教育研修棟新築整備

立花建設株式会社 208百万円

【一般競争入札】

B.臨床研究センター整備

株式会社熊谷組 他 36百万円

【一般競争入札等】

C.外来棟新築整備

株式会社熊谷組 67百万円

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.立花建設株式会社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設費	教育研修棟新築整備工事	208			
計		208	計		0
B.株式会社熊谷組			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設費	臨床研究センター整備工事	23			
計		23	計		0
C.株式会社熊谷組			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設費	新棟整備第2期その他工事	67			
計		67	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	立花建設株式会社	教育研修棟新築整備工事	208	7	86.8%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社熊谷組	臨床研究センター整備工事	23	3	99.6%
2	日本電気株式会社	臨床研究センターネットワーク改修工事	8	1	99.8%
3	株式会社山下テクノス	臨床研究センター整備工事設計	2	2	57.7%
		臨床研究センター整備工事監理	2	1	97.1%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社熊谷組	新棟整備第2期その他工事	67	3	99.6%